

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	茅ヶ崎市	代表者名	佐藤 光
担当者部署	デジタル推進課	連絡先電話番号	0467-82-1111
担当者役職	副主査	担当者氏名	松野 友貴
		連絡先E-mail	
住所	253-8686 神奈川県茅ヶ崎市1-1-1		

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	宮崎 昌美
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	職員が想像しやすい具体的な事例を交えながら、やさしい言葉でDXとは何かを講話いただき、受講者のうなずきも多く、非常に好評だった。ムーンショットとバックカスティングに関するグループワークも活発に行われ、課題解決や業務改革の1つの手法として習得できる内容となっていた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月8日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			9時00分	16時30分	60
			活動時間（分）	390	
3-2. 派遣場所	会場名	茅ヶ崎市役所本庁舎5階研修室	最寄駅	茅ヶ崎駅	
	所在地	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1-1-1	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	担当職員	16人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	令和4年度から令和5年度前半にかけて、経営層や管理監督職までDXという言葉の共通理解や、DX時代の考え方を研修することができた。これにより、管理監督職までのDXマインドの醸成を行うことができたが、実際に事務を行う担当者レベルの職員に対してのDX関連の研修については、足りていない状況である。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	DXという言葉や理解の共通化を図り、さらにDX時代の思考法を習得することにより、通常業務での積極的な課題解決や業務改革を促す。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	ODXの必要性と理解 ○総合計画をDXの観点で読み解く ODXが進む考え方 ○ムーンショットとバックカスティングを体験（グループワーク）	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DXについて認識を統一することができた。 また、ムーンショットとバックカスティングを体験することによって、DX時代の思考法を知ることができた。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	目的は達成されたため、持ち越し等は特にはありません。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 アンケートを収集中のため、後日送付します。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	一人でも多くの職員をDX人材に育成する。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

